

今年も依存症講座を担当しました

東布施クリニックのプログラムに「依存症講座」があります。昨年に引き続き一昨担当させて頂きました。初めにメンバー4名の体験発表を行い、その後、職員による就労支援についてとパッソでの取り組みを説明させていただきました。（当初は職員による説明の後にメンバーの体験発表の予定でしたが、パワーポイントの関係で順番は逆になってしまいました・・・。）“わかりやすかった”という感想もいただき、パッソにとって良い経験となりました。発表者の感想を紹介します！



私は最初に体験発表をしました。何を話しようか悩みましたが、自分が仕事を始めて、職場の人達との付き合いで飲酒を始めたこと、酒量が増えて仕事をなくし、アルコール依存症になったこと、パッソに通所する過程について話しました。今思うと、入院していた頃の話や、断酒して回復していった過程についても話したかったです。今後話す機会がまたあれば、話したいと思います。（森光）

アルコールのみならず自分の持病喘息の経験を含めた喫煙の危険性、病気で寝たきりになる苦しさ、悔しさ、どうしようもない感情についてなど10分ほどの発表をさせてもらいました。発表直後は心の内にあるものが発散でき非常にすがすがしい気持ちでした。喫煙者の多い中、耳の痛い話かなとも思いましたが、発表後のスタッフや一部の患者さんには好評だったと聞いて安心しております。これからも依存症のみならず、身体と心のメンテナンスをはかりながら、健康を意識してステップアップしていきたいと思います。（田邊）



私は今回初めて人前で長い時間発表しました。長らくお酒を飲んでいて、自分がどういうふうになったかを発表しました。自分のアルコール問題について振り返る事ができ、とても良い機会でした。パッソでの軽作業とマンションの清掃をコツコツと続けていき、人とのコミュニケーションを大切にして、自分の将来に向けて邁進していきたい所存です。今回は発表の機会をありがとうございました。（圓尾）



私は現在2回目の通所をしています。体験発表の内容としては、この先再び自立するチャンスがあった時に、決められた時間に起きて通所し、1日の作業をする生活が、必ずや役に立つと思っている事など発表させて頂きました。発表しながら、改めて今後自分がやらなければならない事が再確認でき良かったと思いました。（佐藤）

パッソ作業紹介～髪ゴムの袋入れ～

今回はパッソの軽作業の一つである、髪ゴムの袋入れの作業を紹介します。この作業は、内職斡旋等を行っている有限会社 澤村商会さんより頂いています。



髪ゴムを測る人、髪ゴムを袋に詰める人に分かれて作業しています。
商品の見栄えを良くするために、袋の封をする時シワにならないよう気をつけています。（松尾）

①決められた髪ゴムの本数を測ります。

②測った髪ゴムを箱に入れます。

③髪ゴムを袋に詰めて封をして完成です。

編集後記：お陰様でパッソ通信も10号となりました。メンバー皆さんの協力と読んでくださる皆様のお陰でここまで来れたと思います。これからも楽しい通信を作っていきたいと思います！次回もお楽しみに！（竹中）

